



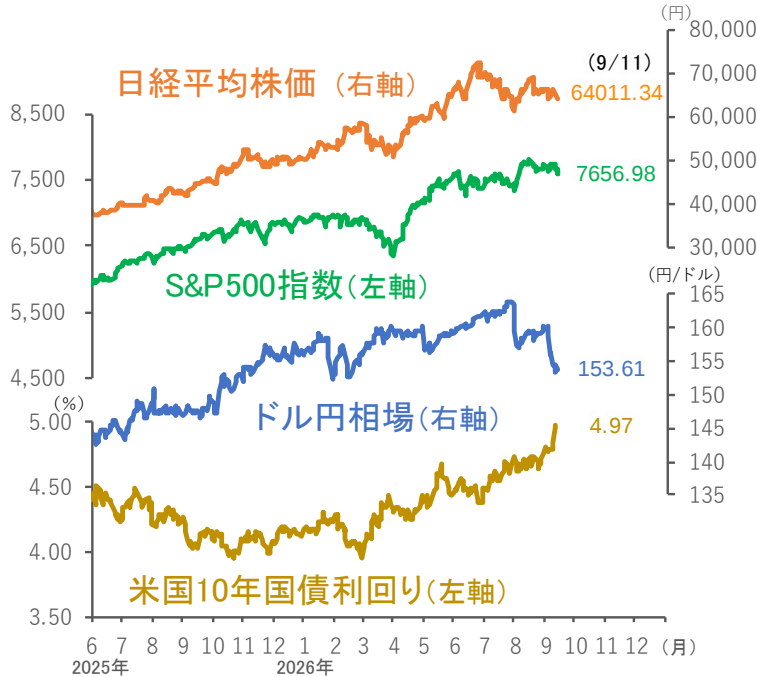
マーケット・レポート

## Weekly Guide 2026.9.14

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご視聴いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、中東情勢の混迷に伴い原油価格が4カ月ぶりに100ドル超まで上昇したことや、米国のCPI（消費者物価）が予想を上回り、9月FOMCでの利上げ観測が高まったことから、債券安・株安となりました。S&P500指数は週間で▲0.8%、ナスダック総合指数は同▲0.7%、独DAX指数は同▲1.8%、日経平均株価は同▲1.6%で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比+19bpの4.97%とおよそ3年ぶりの水準まで上昇、独は+17bpの3.50%と09年5月以来の3.5%超え、日本は+7bpの2.99%に上昇しました。ドル円は、ベッセント米財務長官の円売り牽制する発言等を受け、一時今年2月以来となる152円台まで円が買い戻されました。

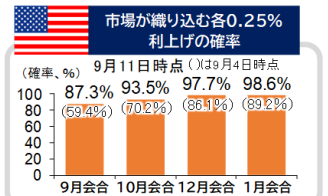
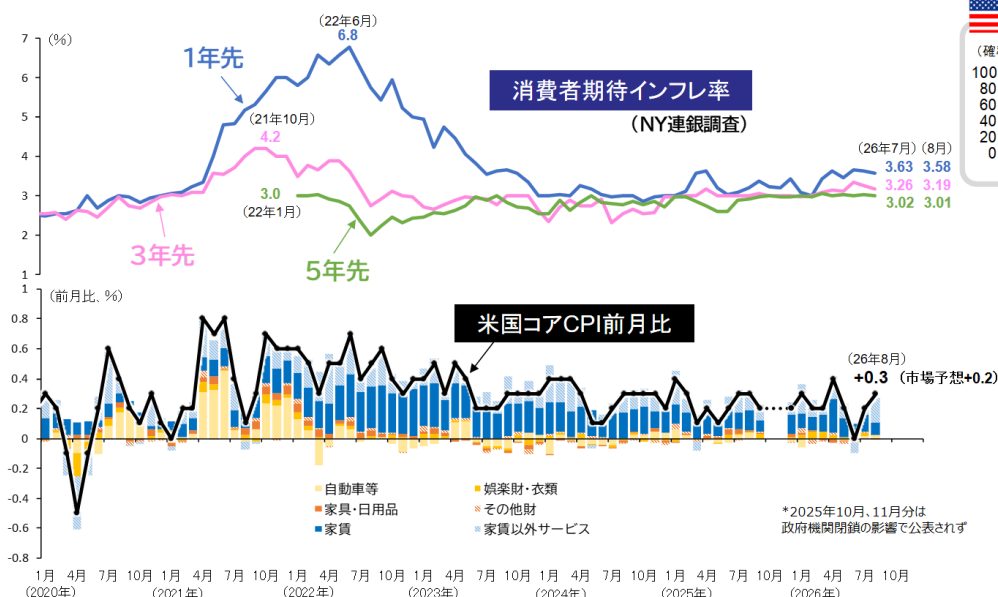
今週は、米FOMCと日銀金融政策決定会合に注目が集まります。いずれも0.25%の利上げ決定がほぼ確実視されています。市場の関心は、この先どこまで利上げが進むかに移っており、FRBと日銀がどのような政策方針を発信するかが注目されます。

## 当面の注目イベント

- ★日・8月貿易統計 (16日)
- ◆米・FOMC (15・16日)
- ★米・9月NAHB住宅市場指数 (16日)
- ◆英・イングランド銀 政策委員会 (17日)
- ◆日・日銀 金融政策決定会合 (17・18日)
- ◆日・8月コアCPI (18日)

★：りそな景気先行指数関連指標

11日に発表された米国の8月コアCPIは前月比+0.3%と、予想の+0.2%を上回りました。これを受け、FF金利先物市場が織り込む9月FOMC（15・16日）での0.25%利上げの確率は9割近くまで上昇しました



【出所】Haver Analytics、CMEグループの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

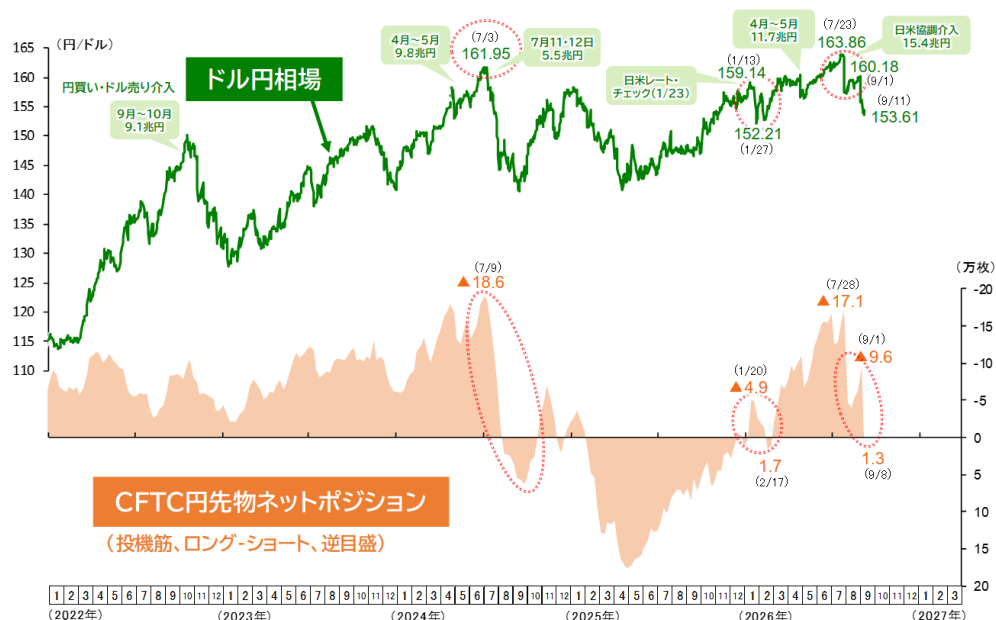
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

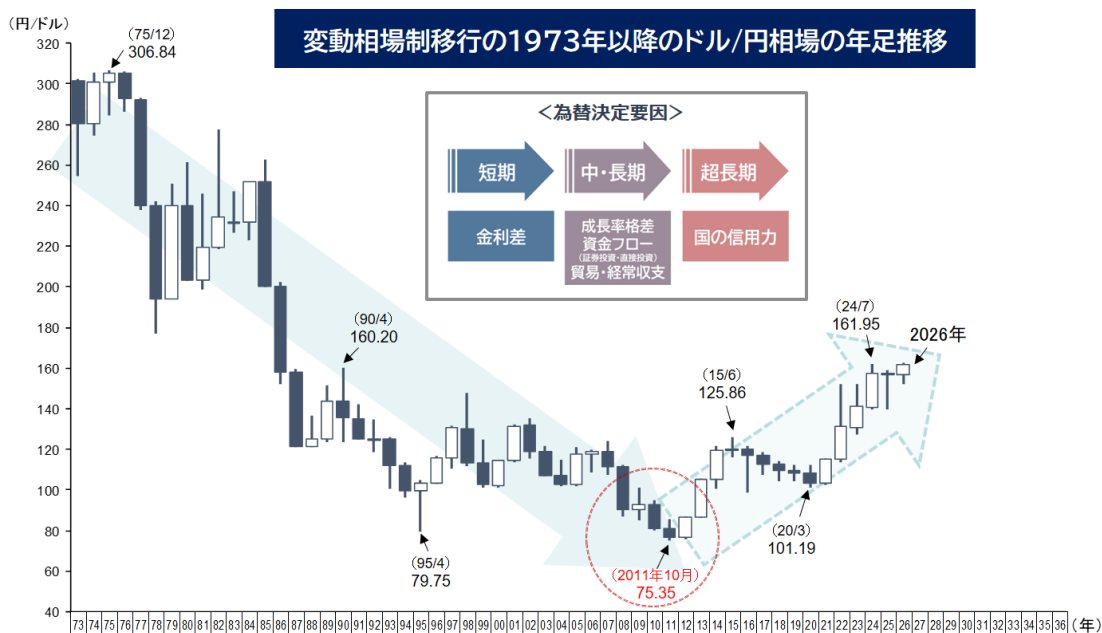
RESONA

9月8日時点の投機筋の円の対ドル建玉は、前週の9.6万枚の売り越しから1.3万枚の買い越しに転じました。ベッセント米財務長官の円売り牽制発言等を受け、円売りポジションの解消は概ね一巡したとみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

経済成長率格差、対外直接・証券投資の拡大、貿易赤字定着など、為替相場を決定する中長期要因がいずれも円売り圧力として影響力を強めていることから、今後も円安トレンドが続く可能性が高いとみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年9月28日 発行予定です

## ＜当資料に関するご留意事項＞

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。